

Environment Report

2007年度環境報告書



北アルプス白馬鎗ヶ岳

大和電機工業株式会社
標準化委員会事務局

当社は事業活動においてISO14001:2004環境マネジメントシステムを環境管理のツールとして常に環境に配慮した経営及びCSRとコンプライアンスを基本としてお客様や社会から信頼される企業を目指しています。

京都議定書の発効からほぼ10年が経過し、地球温暖化対策や有害物質による汚染等地球環境は末期的な様相を呈しているように思います。当社の事業活動においては、省資源や省エネルギー及び廃棄物削減等や薬品漏洩事故等による水質汚濁や土壌汚染等を発生させないなど環境に配慮した取組みが必要であり、持続可能な社会創りへ貢献すべく活動しております。

当社は金属表面処理を主な業種としており、県内3事業所及び山形県にある関連会社共々事業特性である危険有害物の漏出や盗難及び排出水の基準値超過を発生させないよう常に環境に配慮し、監視・測定や定期的な訓練を実施して予防処置を行っています。

事業活動に伴う環境負荷の状況としては、電気使用量、重油使用量、都市ガス使用量の低減や産業廃棄物等の排出抑制に取り組みし、2007年度は全ての目標を達成しており、その結果及び内容をこの環境報告書で公表します。

代表取締役社長
原 房利

大和電機工業株式会社は、自らの責任で地球環境の保全に取り組み、社会から愛され、信頼・存続を望まれる企業を目指します。

大和電機工業株式会社の基本理念

当社では創立以来、経営理念としての「社訓」に「信頼」を掲げ、お客様や全てのステークホルダーに信頼される存在であり続けること。愛される製品作りと愛される会社になることを理念に企業活動を展開しております。

近年、コンプライアンスを軽視した漏洩事故や偽装等の事件が報道されていますが、当社では関係する該法規制や当社が同意するその他の要求事項を順守し、国際的に要求が高まっている「企業の社会的責任(CSR)」を果たすよう努めています。

大和電機工業株式会社の経営方針・品質方針

「熟慮・即実行・改革」

大和電機工業株式会社の環境方針

「環境負荷の低減は一人ひとりの活動で！」

◎環境経営報告書 2007 の編集方針

当社は、環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を目指しています。当報告書は、環境経営の考え方や推進方法、活動事例などをわかりやすく情報開示し、社員・社会とのコミュニケーションを図るとともに、社会からの信頼を得るために発行します。

対象組織

本社	長野県諏訪郡下諏訪町東四王 5197 番地
松本事業所	長野県松本市今井 7066-3 番地
諏訪事業所	長野県諏訪市中洲 4750 番地
下諏訪事業所	長野県諏訪郡下諏訪町北四王 5183 番地
(関連会社 ヤマトテック)	山形県新庄市大字福田字福田山 711-108)



事業概要

- ◎ 電子部品(プリント基板、セラミック基板、リードフレーム、コネクタ、チップ抵抗等)およびフレキシブルテープ等の電解・無電解金属表面処理業務
- ◎ 電子部品の印刷・組立および実装検査と電子部品組立装置、電子部品処理装置(乾燥、選別)等の設計・開発・製造および販売業務

2007年度 社長念頭挨拶



代表取締役社長
原 房利

2007年が幕開けしましたが、この雪の降らない穏やかな日々は、エルニーニョ現象の影響とはいえ、地球の温暖化は深刻さを象徴しています。さらに昨年7月に諏訪地方を襲った豪雨災害は自然の猛威の前には人間の力の及ばないことを思い知らされましたが、私たちがISO14001で進めてきた危機管理への取り組みが確実に機能し、全事業所が閉鎖することなく稼働体制が取れました。また当社で用意してあった土嚢は地域の住宅へ土砂の流入を防ぐことができ、地域と共存共栄する防災活動を行うことができました。これに奢ることなく、常に進化する取り組みを進めてください。

今年最も社会問題としてクローズアップされたいじめ問題は、深刻化するばかりで無惨にも多くの幼い命が失われています。何気ない一言や自分では自然に振舞っている姿勢が、相手の心を傷付け、最悪の場合は自殺まで追い込んでしまいます。また上司は指導をしていると思っても、部下の皆さんはいじめと捉えてしまうこともあることを想定し、相手の心を汲み取り、心に入り込んだ指導をしてください。会社ではメンタル面にも重きを置いた対応をしていきますが、会社の中でいじめの情報があれば、間髪を入れず正す行動を起こしてください。いかなる場合であっても社員の生活の基盤を無くすような、転職を余儀なくさせることを発生させないようにしてください。

さて、世界を見れば、核実験をした北朝鮮問題は6カ国協議でも議題に入らず隣国として核の恐怖が持続しており、9.11の死者を超してしまったイラク問題は泥沼化し、原油価格を始め金・銀など各種原材料の高値は、経済成長に陰りを見せ始めており、当社にとっても売上は伸びても中身では大きく影響を受けるなど、政治、経済、環境すべてにわたって難題が山積しています。こうした時こそ知恵の出どころです。知恵の結実が現状を打破し、新しい夢と希望溢れる世界へつなげられることとなります。いまこそ発奮し、創造溢れる社会、会社になるよう皆さん力を発揮してください。

2007年度の経営・品質方針は、「熟慮・即実行」を掲げ、再チャレンジすることになりました。それは今年度これまで実践、取り組みしてきた過程で、お客様が満足していただけるような品質、納期、価格面、すべてにわたり停滞をした結果になってしまったことによります。もう一年、徹底して取り組んでいくことにしましたので、正念場の年として捉え、上滑りすることなく、社員一人ひとりまでその意とするとところを汲み取り、浸透させて目標達成に尽力してください。

当社を取り巻く市場経済は、日に日に激化の一途を辿っており、いままでと同じ感覚や行動をしていたのでは取り残されてしまいます。競争に差をつけて勝っていくためには、現状を解析、分析し、相手とどう戦っていくか、しっかりした戦略を構築していくことが不可欠であり、その取り組みを組織的に進めています。社員の皆さんは、構築された戦略にいろいろなアイデアを付加してもらい、一人ひとりが心の準備をし、自主、自立の気持ちを持ちながらも組織を駆使し、人と人とのコミュニケーションをベースに、英知を結集して事に当たっていただくようお願いします。その行動が、他社より一歩も二歩も先んじる技術と品質を確立することにつながり、他の追従を許さない地位まで押し上げることとなります。是非信念溢れる行動を継続して進めていただくことを期待しています。

昨年11月には、待ちに待った田中工業の社屋が完成し、本格的に12月初旬から本格稼働が始まりました。田中工業のメンバーと工機部のメンバーが一緒になり力を合わせて、諏訪地域はもとより県内で一番の治工具メーカーになることを目標にスタートしました。しかしながらいいい人材、いい技術があっても田中工業だけではまだまだ力不足のところがたくさんあります。一日も早くよりよい会社にしていくために、大和電機の皆さんに力を貸していただき、大和電機グループ全体で盛り上げていくよう強力なお力添えをお願いします。

最後に、新たな年が社員の皆さんにとり、ご家族の皆さんにとっても健康な一年であるように、そして会社が常に元気な一年が送れることを念願し、新しい年の門出のあいさつとさせていただきます。

2007 年度環境方針

1. 基本理念

大和電機工業株式会社は“信頼”をもとに、全社員の創意によるあらゆる企業活動の面で、地球環境の保全と地域社会との共存に配慮し行動します。

2. 環境方針

「環境負荷の低減は一人ひとりの活動で！」

当社は電子部品等の電解・無電解金属表面処理業務、電子部品等の印刷・組立、電子部品処理装置等の設計・開発・製造業務活動において、環境マネジメントシステムを構築し関連する環境法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、技術的・経済的可能な範囲で継続的な環境改善を推進し環境汚染の未然防止と危機管理・安全管理に努めます。

- ① 環境マネジメントシステム及び環境目標推進状況は品質/環境定例会、部門長会議、内部環境監査により、確認を実施し継続的な改善を推進します。
- ② 環境保全を推進するため環境に有意な影響の原因となり得る可能性のある項目に対して 2005年度に第二期長期、短期の環境目的及び目標を作成し活動してまいりましたが本年は最終年度です、達成活動に尽力してください。また松本サイト・諏訪サイトは「第二種エネルギー指定工場」です、要求事項を順守してください。
- ③ 達成に向け全従業員が参加し実行します。したがって次の事項を含ませる。
 - ◇めっき工程の水使用量の削減
市水・井水
 - ◇紙資源の使用削減とリサイクル化の推進
コピー、ストックホーム紙の削減 ・ B/C ランク用紙のリサイクル 金属屑のリサイクル
 - ◇エネルギー資源の使用量削減
松本サイトは重油・電気 本社・下諏訪サイトは石油・電気 諏訪サイトは電気・都市ガス
 - ◇特別管理/産業廃棄物の削減
スラッジ ・ 廃プラスチック類 ・ 産廃金属屑 ・ 腐食性廃酸 ・ 腐食性廃アルカリ
- ④ 環境に与える負荷が、最小限となるよう RoHS 指令、有害物質不使用要求への取り組みと危機管理・安全面項目の予防処置および対応方法を定め訓練を実施します。
- ⑤ 環境改善を実施し維持する為の環境教育を各サイトで全従業員に実施し、本方針の理解と環境に関する意識向上を推進します。
- ⑥ 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行いません。
この方針は、社外の要請があれば必要に応じて公表します。

2006 年 12 月 01 日
大和電機工業株式会社
代表取締役社長 原房利



環境マークは従業員の環境問題への意識の「啓発と高揚」に使用されます。

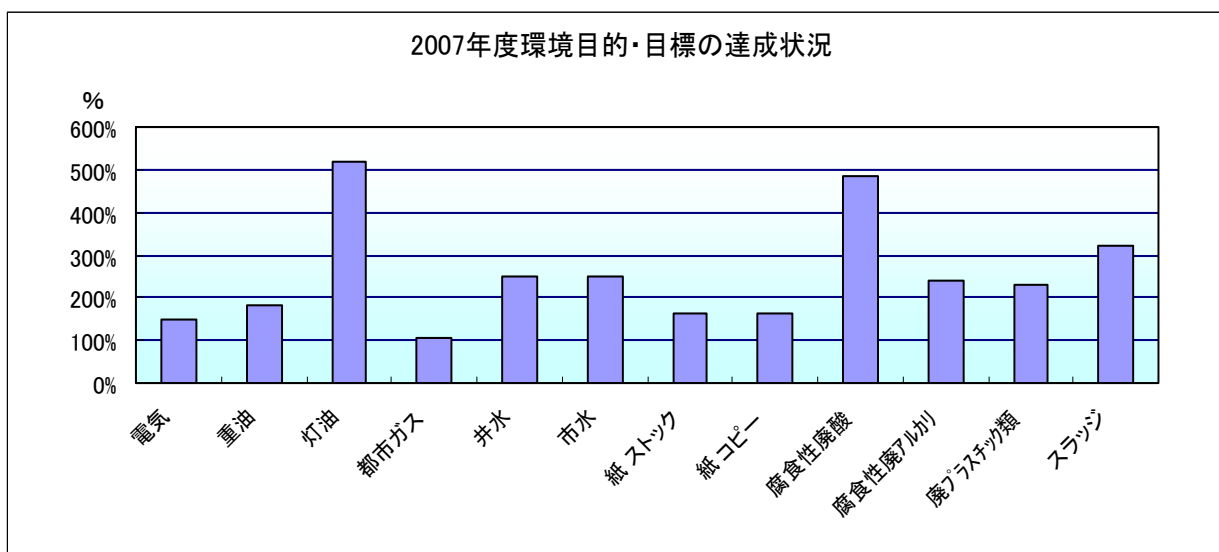
当社環境マーク

環境保全に関する目標、計画及び実績等の総括

当社はISO14001:2000(JIS Q 14001:2000)の環境マネジメントシステムの運用の中で環境保全に関する目標を定めて、その目標達成のために計画を立てて取り組みしています。

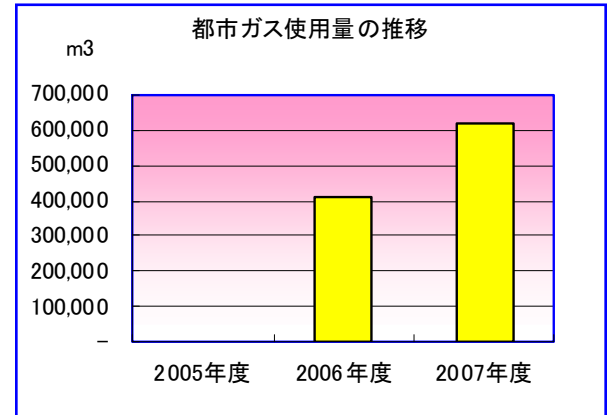
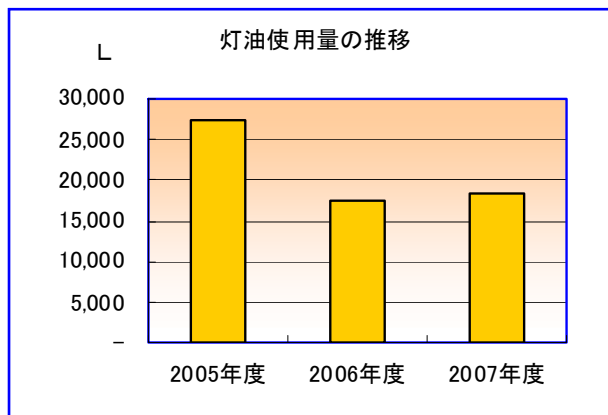
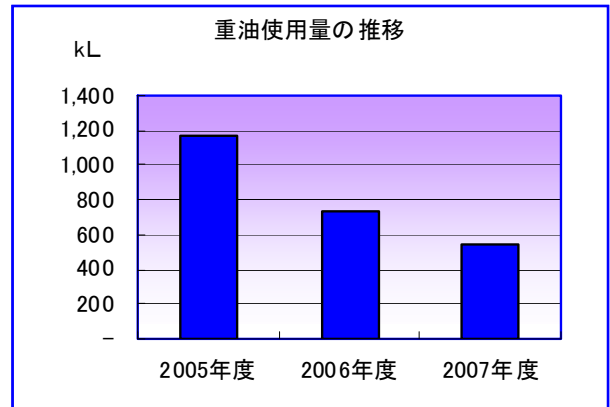
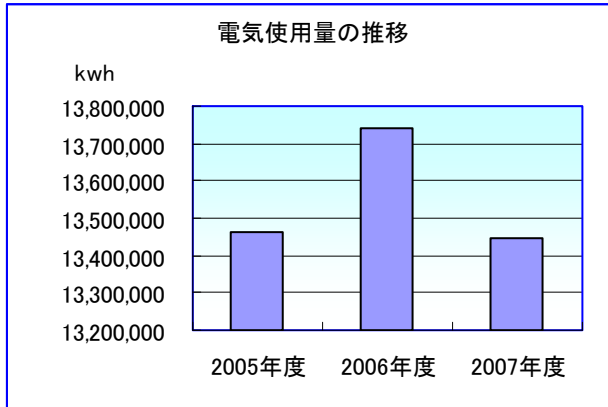
2007年度の環境目的・目標の活動結果

環境側面 (環境影響要素)	2007年度環境目的・目標推進状況 (原単位換算での対目標達成度)	
電気使用量	148%	
重油使用量	185%	
灯油(石油)使用量	516%	
水使用量	井水	250%
	市水	251%
紙(ストックフォーム、他)使用量	165%	
紙(コピー用紙、記録用紙等)使用量	165%	
腐食性廃酸排出量	483%	
腐食性廃アルカリ排出量	239%	
廃プラスチック類排出量	231%	
スラッジ排出量	322%	
産業廃棄物(金属屑)排出量	710%	

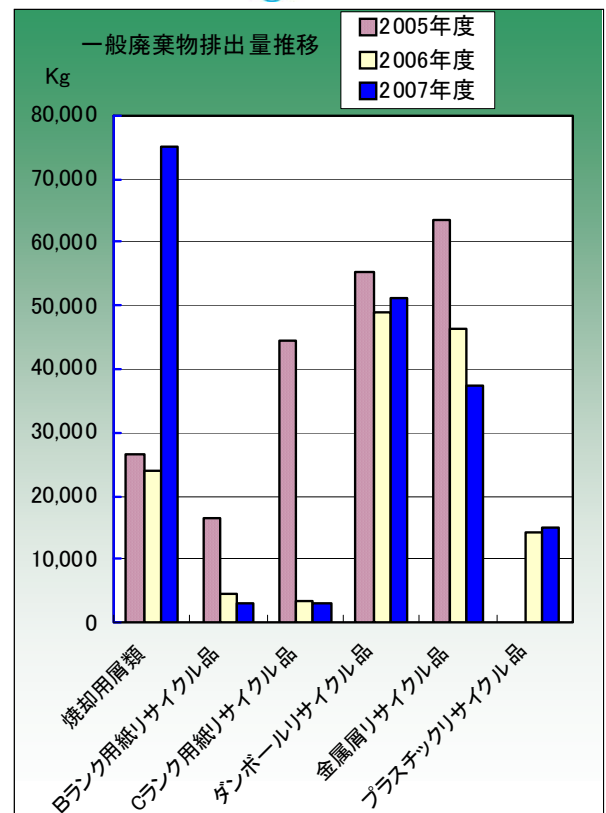
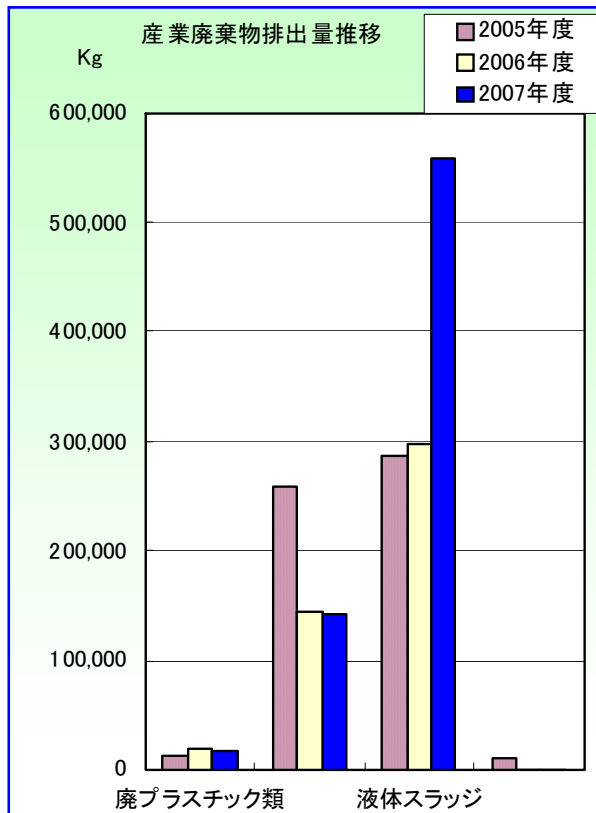


- ◎ 2007年度の環境目的・目標はすべての項目で目標を達成しました。
- ・当社では化石燃料である重油や灯油、ガソリン等の使用量を削減するために実行計画書を作成して、一人ひとりが使用量の削減に向けた活動を展開しています。このことにより温室効果ガスである二酸化炭素の排出量も削減されています。
 - ・電気使用量の削減については、省エネタイプの機器の導入やデマンドコントロールなどを活用して効果を上げています。
 - ・特別管理産業廃棄物である腐食性廃酸や食性廃アルカリの社内処理化を進めて排出量削減の効果を上げています。
 - ・環境負荷を低減させる為に化学物質の適正管理に努め、使用薬品の削減や環境に優しい薬品を使用する活動を行なっています。
 - ・天然資源である水を大切にするために、リサイクルや節水に努めています。
 - ・廃プラスチックや金属屑のリサイクル化に取り組んでいます。

エネルギー使用量推移



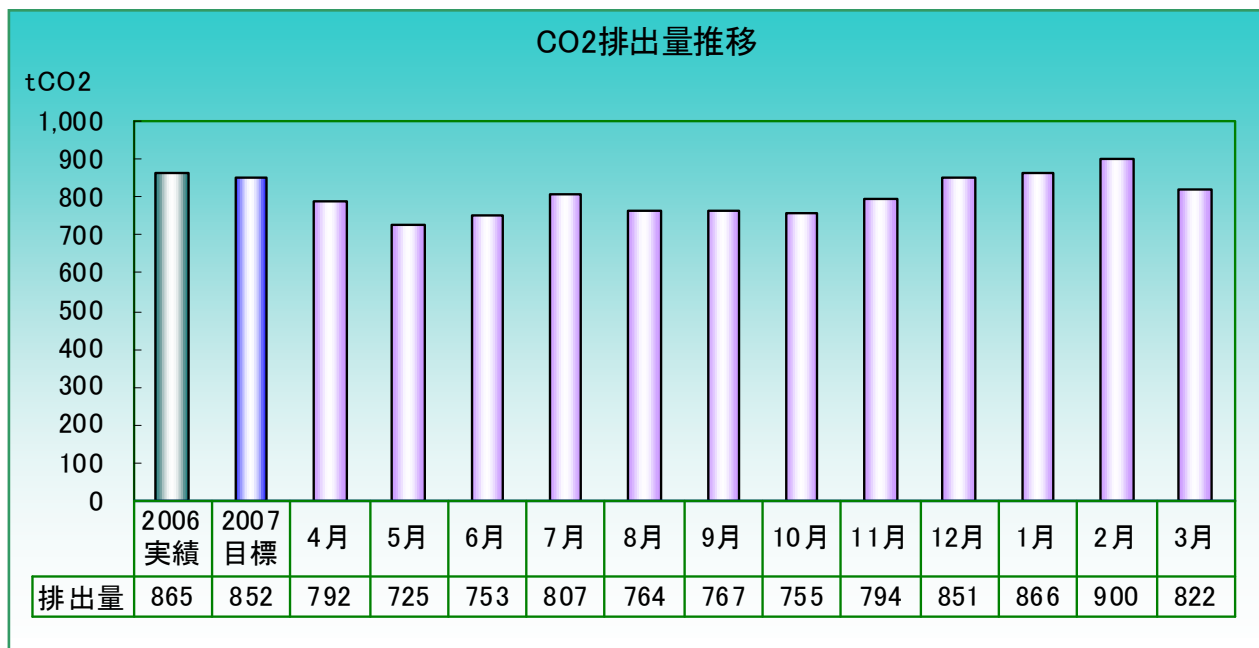
廃棄物排出量推移



温室効果ガスの削減活動

温室効果ガスの排出量の削減についての法的拘束力のある約束等を定めるものとして 1997(平成 9)年 12 月に採択された「気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書」が、2005(平成 17)年 2 月 16 日に発効し、世界の地球温暖化対策は新たな一歩を踏み出し、2008 年 4 月より約束期間が開始されます。当社も地球温暖化防止のために温室効果ガスの排出量を削減する活動に取り組んでいます。主な内容として、省エネ活動(節電、ボイラー燃焼の効率化や廃熱利用、自動車の相乗り、アイドリングストップ、クールビズ、ウォームビズ等)などの活動を展開しています。

2007 年度二酸化炭素排出量推移



社会貢献活動による地域社会との共存

お客様との共存は勿論ですが、当社では地域社会との共存を希求して行動しています。

- ・諏訪湖岸清掃への参加
- ・工業団地清掃活動への参加
- ・新入社員による県道美化活動
- ・事業所周辺の側溝清掃、道路掃除
- ・使用済みプリンター用インクカートリッジの寄付(ベルマーク活動商品)
- ・諏訪湖が依頼魚駆除活動への支援等々



環境マネジメントシステムの状況

当社では ISO14001:2000 環境マネジメントシステムを環境管理のツールとしており、内部環境監査と審査機関による第三者監査を毎年実施して環境マネジメントシステムの維持と向上に努めています。

適用される該当法規制及び当社が同意するその他要求事項の順守状況

当社に適用される該当法規制及び当社が同意するその他要求事項を定期的に抽出して、定期的なレビューを行って適切に処理を行っています。また、順法性の定期評価を実施して順守状況を確認していますが、該当法規制及び当社が同意するその他要求事項を逸脱する不適合は発生していません。

環境に配慮した投融資の状況

当社では環境に配慮した投融資を行い環境負荷の低減に努めています。

2007 年度投資金額

項目	投資金額	割合
省エネ/省資源改善	5,653,194	15.4%
法規制	12,988,900	35.5%
危機管理対応	503,952	1.4%
環境整備	17,480,387	47.7%
	36,626,433	

グリーン調達状況

当社では様々な化学薬品を使用していますが、お客様の要求事項や RoHS 指令や POPs 条約等を順守するために、新規購入品はアセスメントを行って環境に配慮した薬品の購入を行っています。

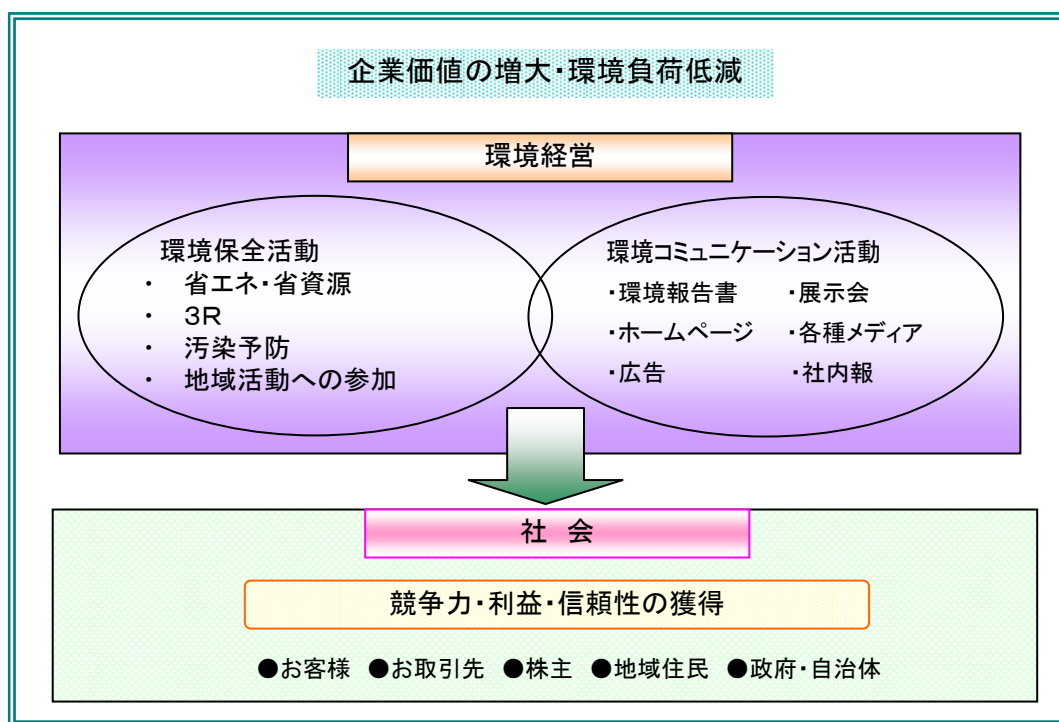
環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発状況

当社では様々な化学薬品を使用していますが、その中に含まれるレアメタルの埋蔵量も僅かになっているといわれています。当社ではお客様が製品を使用する上で最小のエリヤでめっきができる技術を実用化しています。また、有害化学物質の管理の為にICP発光分析装置等を導入して、お客様から要求されている閾値内に管理しています。

環境コミュニケーション状況

当社ではお客様やお取引先様は勿論のこと地域社会とのコミュニケーションを大切にして、企業価値を認められ信頼される企業を目指しています。

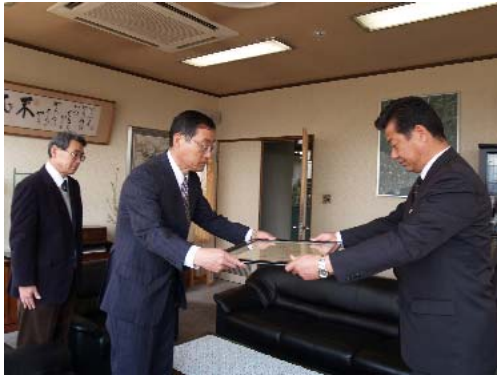
環境経営と環境コミュニケーション



汚染防止

当社では、世界各地やお客様で規制の対象となっている化学物質を、「禁止」、「削減」、「管理」対象に分類し管理しています。「削減」対象の化学物質については、リスク管理の考え方を適用して削減に取り組んでいます。これは、各化学物質の環境影響の大きさに応じて環境影響度係数を設定し、使用量、排出量に重み付けすることで、環境影響の大きな化学物質を把握、重点的に削減していくという考え方です。特に環境影響の大きな RoHS 指令や POPs 条約などで規制された物質やオゾン層破壊物質などに関しては、重点的に不使用や削減を進めています。また、環境リスクを未然に防止するために各サイトは環境への浸透や流出などを防止するための取扱管理を徹底し、汚染防止に努めています。

地域貢献



下諏訪町への寄付に対して紺綬褒章授与 2008年4月3日



旧東洋バルブ諏訪工場跡地取得基金への寄付に対する感謝状 2008年9月2日



事業所周辺植栽

諏訪湖周辺清掃

